

『一生懸命』幻の新座市議会報告第154弾!



たかむらともや

2017年11月13日発行

③ 指導死

福井の中学校二年生が教師による「指導」が原因で自殺しました。指導死です。

今から17年前の2000年の10月。当時新座二中の2年生だった大貫陵平さんの死が全く生かされてないことに怒を感じます。

大勢の生徒の前で大声で叱責する。教師集団で同じ指導を繰り返す。友達の名前を言わせる。大勢の前で恥をかかせる。その攻撃方法は実に陰湿で逃げ場を作らない「虐め」そのものです。

馬鹿の言うことは無視しておけば死なずにすんだのに。人としても最低な教師達の言葉に傷ついて死んでいく子ども達が可哀想でなりません。

「提出物を出さなかった」「遅刻した」「休み時間にお菓子を食べた」「学校にライターを持ってきた」だからどうした？人の心を傷つけることと比べたら、その罪は0.001%にもなりません。

全国の子ども達、自分の周りにいる馬鹿な教師達の為に自分の命を捨ててはいけません。

馬鹿な教師達は言葉で君たちを傷つけます。内申をチラつかせながら威圧的な言葉で人の心を傷つけます。外見だけで君たちを判断します。教師としてのセンスの欠片もありません。子ども達、人として最低なのは、人の心を傷つけることです。教師にも0点から満点の先生までいます。彼らは教師になってはいけなかったのです。

君たちも教師を採点してごらん。君たちをやる気にさせて、いつも笑顔で励ましてくれる先生には100点満点をつけよう。そして、君たちの心を傷つける教師達には厳しい点数をつけてみよう。

君たちの目の前にいる0点教師が何かを言っても、(ああ0点教師の言うことに傷つくことはないよなあ)そう思えば馬鹿らしくて自分の人生を終わりにすることなんか、考えられなくなるからね。

子ども達、人生は一度切りです。中学・高校という素晴らしい時期に、君たちが素敵な満点先生に出会うことを祈っています。内申をチラツツさせる0点教師の言葉に傷つかないで！！



語る会の控え室に五中時代の教え子のお母さんが訪ねてきてくれました。そして、僕と俊さんにちょっぴり元気をくれたのです。ありがとう美里さん！

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山に生まれる。新宿区百人町では有名な「超悪ガキ」だった。弱いもの虐めだけはしたことがなかったが、当時からPTAのおばちゃん達にはとても嫌われていた。

中二で河合先生と出会うまでは勉強も1日5分以上したことはなく、遊んでばかりいた。中二の2学期になって、突然勉強に目覚め、偏差値が40から63に急上昇。軟式テニスも新宿区で優勝し、完全に調子に乗り始める。2年3年と友達にも恵まれ、偏差値は75に。そこが人生のピークだった。(笑)その後は硬式テニスにのめり込み、石神井高校では学年でペケから6番(クラスで最下位)に。とほほほ。

写真は六中のテニス部だったタ美子ちゃん。将来なりたくなかったものは「教師」「政治家」「PTAの会長」だった。何故か全部経験してしまったが！

好きな言葉は「一生懸命」「経世済民」「明眸皓齒」好きな政治家は田中角栄、ホセ・ムヒカ、枝野幸男。

大っ嫌いなのは弱いものいじめをする、いつ見ても人相の悪い政治家とグローバリスト達！！

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 大統領と総理大臣

二人が仲良くゴルフをやって、何を話しても別に構いませんが、国民の税金で米国から武器を買うのも米日FTAも勘弁して欲しいものです。

TPPも人・物・金が自由に行き来する極めて危ない仕組みですが、日米FTAなどということになればアメリカのグローバル産業によって日本の法律が全く無視されることになります。自由貿易とはグローバルリスト達にとっての自由ですから、日本の政府は法律で規制することが全く出来なくなります。食の安全、国民皆保険制度も破壊されるでしょう。

米韓FTAの現実を見ればこのFTAが韓国にとっていかに不平等なものか分かる筈です。

戦後「日米地位協定」という不平等条約が70年以上続いています。そして、それ以上に恐ろしいのが米日FTAなのです。

あの郵政民営化も米国からの要求でした。その結果、アフラックは大儲けしています。その分日本の企業と国民が損害を被っている訳です。

「憲法九条」の改正も米国からの要求です。アメリカに押しつけられた憲法だから改正するんだ！

そういう人に限って、超不平等な日米地位協定には興味がなく、見向きもしません。

沖縄県民があれだけ反対している辺野古新米軍基地建設に対しても、彼らは賛成しています。

憲法改正も米国からの要求があるからこそ進めたいのでしょう。「憲法九条」は米国軍に対する最強の”規制”だということを忘れてはいけません。

③ 新庁舎

新庁舎がほぼ完成しました。先日、5階にある議場を見学しました。立派な議場でした。「保育園の待機児童の方が優先だ！」と”語る会”だけは新庁舎建設には反対しましたが、出来てしまった以上、そこで思い切り仕事をするしかありません。

この14年間で会派のメンバーは色々変わりましたが、変わらないのは市政に対する批判的な姿勢だと思っています。

庁舎が新しくなっても、市長のイエスマンが多い議会では何も変わりません。市民のみなさんの厳しい目を意識しながら、議会で発言し、議会報告を書き、これからも駅に立ち続けます。

③ 五中陸上部に学ぶ

11月4日(土)僕は朝から夕方まで熊谷の陸上競技場にいました。去年から五中陸上部の駅伝チームをずっと応援してきたのです。

顧問の先生は子ども達に「襷は渡すんじゃない、繋ぐんだ」と言いました。子ども達は、熊谷で確かに襷を繋ぎました。去年、関東・全国の夢を絶たれた先輩達から繋いだ襷でした。

今年の大会に出たくても出られなかった、仲間達から繋いだ襷でした。長距離の子達の応援に駆けつけた同じ陸上部の子達から繋いだ襷でした。

地区大会で五中に負けた駅伝チームから繋いだ襷でした。「勝ったチームは負けたチームの襷も繋ぐ義務がある」顧問の先生はそうも言いました。

僕達は父や母から繋いで貰った「愛情」という襷を、次の世代に繋がないといけない。その大切さを僕は五中の陸上部に教えて貰いました。



五中女子は駅伝の県大会で優勝し関東・全国の切符を手に入れました。写真はトップを走る選手の直ぐ脇で揃った応援をし続ける応援団です。襷を繋いで走った選手、補欠、顧問の先生、応援、みんなの素敵な勝利でした。

③ つぶやき

PTAや町内会で悩んでいる人からのメールが多くなった。子ども達からも「学校に行けない」「いじめにあっている」「顧問から暴言を吐かれている」「内申が不安です」「テスト前の課題が多すぎる」そういう相談が増えた。そう言えば、現役の先生達からの相談も多くなってきた。みんな悩んでいるのだ。

なんとかしなくっちゃ！誰もが笑顔で安心して生きていけるように知恵を絞るぞ！！ たかやん